

基本目標5 次代を担うひとを育むまち

# 5-1-1 切れ目のない 子育て支援



### ありたい姿

妊娠期から育児期まで、切れ目のない支援により安心した生活が確保されるとともに、子ども一人一人の成長や家庭環境に応じた支援の充実が地域ぐるみで図られ、子どもたちが伸び伸びと健やかに育つていきます。

### 現状

- ・晩婚化や晩産化が進む中、不妊治療や不育治療を必要とする人の経済的負担の軽減が求められています。
- ・また、核家族化の進展や地域のつながりの希薄化など、子育て家庭を取り巻く環境が時代とともに変化してきており、子育てへの不安や経済的な負担、育児に対しての孤立感を抱える保護者への支援が求められています。
- ・虐待件数は増加しているものの、保育園や学校、関係機関が連携し、子どもの虐待の早期発見に努めており、軽微な状態のうちに通告・対応がなされていることから、緊急度の高いケースは減少しています。

### 目標

- ・妊娠を希望する人の経済的な負担が軽減され、安心して妊娠・出産を迎えるとともに、出生前の妊娠期から、生活習慣病\*の発症予防や重症化予防が講じられ、心身の健康が保たれています。
- ・個々の家庭環境に寄り添った支援により、保護者や子育てに関わる人が、子どもの成長に合わせ、自信を持って子育てをしています。

### 成果指標

項目	現状値	R8 中間目標値	R12 目標値
乳幼児健診の受診率	98.0% (R1-R3平均)	98.0%	98.0%
出産や子育てがしやすいと感じる市民の割合 (上越市市民の声アンケート)	61.3% (R4)	65.0%	70.0%
児童虐待に関する支援が必要な世帯のうち、 緊急度の高いケースの割合	8.4% (R3)	8.0%以下	7.5%以下

## 施策の柱

### 1 母子保健の充実

- ・母子ともに健康で安心して生活できるよう、上越市健康増進計画<sup>\*</sup>に基づき、妊婦健診や乳幼児健診、予防接種等を通じて母子保健の充実に取り組みます。

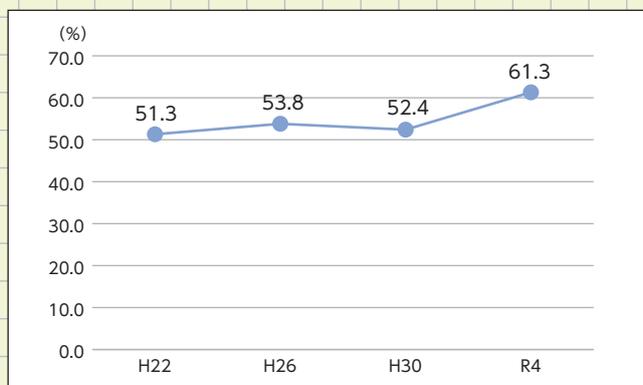
### 2 子育て家庭への経済的支援

- ・子どもや妊産婦に係る各種医療費助成を行うとともに、経済状況など子育て家庭の実情を踏まえた子育て世代の経済的負担の軽減に取り組みます。
- ・ひとり親家庭の経済的自立を支援するため、母子・父子自立支援員<sup>\*</sup>を配置し、就労支援に取り組みます。
- ・安心して妊娠・出産を迎えられるよう、不妊不育治療を行う市民に対して治療費を助成します。

### 3 子どもの育ち支援の充実

- ・児童とその保護者が交流する場の創出や、子育てについての相談、情報の提供等の援助を行うため、こどもセンター、子育てひろばを運営します。
- ・仕事と育児を両立し、安心して働くことのできる環境づくりを推進するため、地域の子育ての相互援助活動であるファミリーサポートセンター事業<sup>\*</sup>に取り組みます。
- ・発達の遅れ等のある子どものすこやかな育ちを確保するため、こども発達支援センター<sup>\*</sup>において子どもの療育や保護者の相談対応を行います。
- ・子どもへの虐待を防止するため、出前講座の実施などを通じて周知啓発に取り組むほか、関係機関と連携し、虐待の未然防止や早期発見・早期対応に取り組みます。
- ・ヤングケアラー<sup>\*</sup>や貧困、不登校など、特別な支援を必要とする子どものセーフティネットの強化に取り組みます。
- ・子ども、保護者、地域住民、子どもとの関わりを持つ組織・団体等に向けて、子どもの権利に関する知識の普及と意識の啓発に取り組みます。

●出産や子育てがしやすいと感じる市民の割合



出所：上越市総合政策課（上越市市民の声アンケート）



▲オーレンプラザこどもセンター



▲市民プラザこどもセンター

## 基本目標5 次代を担うひとを育むまち

### 5-1-2 子育て環境の充実



#### ありたい姿

共働き世帯の増加や就労形態の多様化などに対応した子育て環境や保育サービスの充実が図られる中で、このまちで子どもを産み育てたいと思う人が増えています。

#### 現状

- ・少子化の進行により、保育園等への入園児童数が減少し、一定規模の集団保育や異年齢児との交流が難しい園が存在しています。
- ・また、公立保育園の多くは施設の経年劣化や老朽化が進んでおり、より安全な保育環境の確保が求められています。
- ・さらに、共働き世帯の増加や就労形態の多様化などから、保育園等を利用する3歳未満児や年度途中で入園を希望する児童、放課後児童クラブ<sup>※</sup>を利用する児童が増加しています。

#### 目標

- ・保護者の就労形態の多様化などに対応した子育て環境や保育サービスが充実し、保護者が安心して児童を預けることができます。
- ・安全な保育環境が確保されるとともに、保育園の適正配置などの取組により、集団保育ができる体制が維持されています。
- ・放課後等に保護者が不在となる小学生への育成指導により、児童の健全育成と保護者の就労支援の両立が図られています。

#### 成果指標

項目	現状値	R8 中間目標値	R12 目標値
放課後児童クラブを利用する保護者の満足度	※R4から新規実施	80.0%	85.0%

施策の柱

1 保育園等の充実

- ・ 保育ニーズや児童数の変化に対応するため、関係機関と連携して保育士の確保に取り組むとともに、保育園の適正配置を進めます。
- ・ 社会経済環境の変化に伴う、保護者の就労形態や保育ニーズの多様化に迅速な対応を図るため、民間事業者の活力を利用し、子育て環境の一層の充実を図ります。
- ・ 保育園等に通う全ての児童が安心して保育を受けられる環境を確保するため、私立保育園等に運営や施設整備等に要する費用の一部を支援します。

2 多様な保育サービスの提供

- ・ 保護者の就労形態や保育ニーズの多様化に対応するため、延長保育や一時保育、24時間受入可能なファミリーヘルプ保育園の運営、病児・病後児保育のほか、こどもセンターにおける一時預かりなど、多様なサービスを提供します。
- ・ 放課後児童クラブ<sup>※</sup>を利用する児童が安全・安心に過ごせるよう、支援員の確保や施設環境の充実を図るとともに、利用手続などの利便性の向上に取り組めます。

● 保育園・認定こども園入園児童数（広域委託分含む）

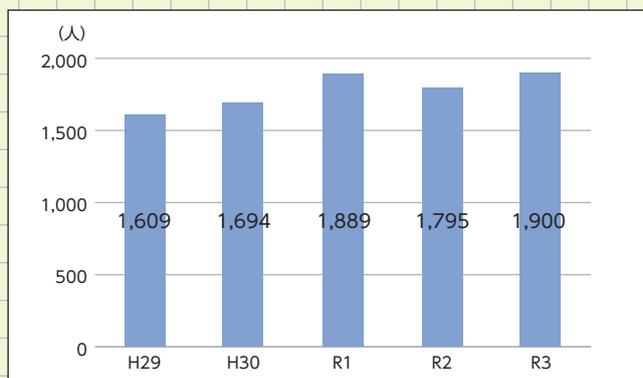


出所：上越市幼児保育課（各年4月1日現在）



▲ 病児保育室

● 放課後児童クラブの利用児童数



出所：上越市学校教育課（各年5月1日現在）



▲ 放課後児童クラブ

基本目標5 次代を担うひとを育むまち

# 5-2-1 主体的な学びを支える 学校教育の充実



## ありたい姿

将来の予測が困難な時代にあっても、学校と地域が連携・協働<sup>\*</sup>して子どもの成長を支え、自分の未来を描き、主体的に学び、行動する力が子どもたちに身に付いています。

## 現状

- ・学校教育においては、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力、人間性など」の3つの柱からなる資質・能力を総合的にバランスよく育てていくことが求められています。
- ・このような中、少子高齢化や核家族化の進行により、地域とのつながりが希薄化するなど、子どもを取り巻く環境が変化しており、学校と地域が連携・協働して子どもの成長を支えていく必要があります。
- ・また、個別最適な学びや協働的な学びを一体的に充実し、自ら学びの履歴を振り返りながら主体的に学習する態度を育むために、ICT<sup>\*</sup>の整備と活用を推進していく必要があります。

## 目標

- ・実体験やICTを効果的に活用する授業で、子どもが主体的に学習する態度が身に付き、学力が向上しています。
- ・学校と地域が連携・協働し、コミュニティ・スクール<sup>\*</sup>や小中一貫教育の仕組みをいかして、子どもの自ら学ぶ力を引き出し、伸ばす授業となるようカリキュラム・マネジメント<sup>\*</sup>を推進しています。
- ・地域資源をいかした学習活動や、学校・家庭・地域が連携・協働した健全育成が推進され、子どもたちの地域への愛着や関心が高まっています。

### 成果指標

項目	現状値	R8 中間目標値	R12 目標値
児童・生徒の全国標準学力検査の偏差値 (小学校2年生～中学校3年生の全教科)	全国平均と同程度 又はやや下回る (R4)	全学年・全教科 偏差値50以上	全学年・全教科 偏差値50以上
様々な研修(外部研修、校内研修等)に参加し、 研修内容をいかして授業改善に取り組んでいる 教職員の割合 (上越市第3次総合教育プランアンケート)	※R4から新規実施	80.0%	85.0%
授業がわくわくする(楽しい、分かる、おもしろい) と感じる児童・生徒の割合 (上越市第3次総合教育プランアンケート)	※R4から新規実施	70.0%	75.0%
地域の特色をいかしたカリキュラムを編成し、 実践に取り組んだ学校の割合 (上越市第3次総合教育プランアンケート)	※R4から新規実施	全ての小・中学校	全ての小・中学校

施策の柱

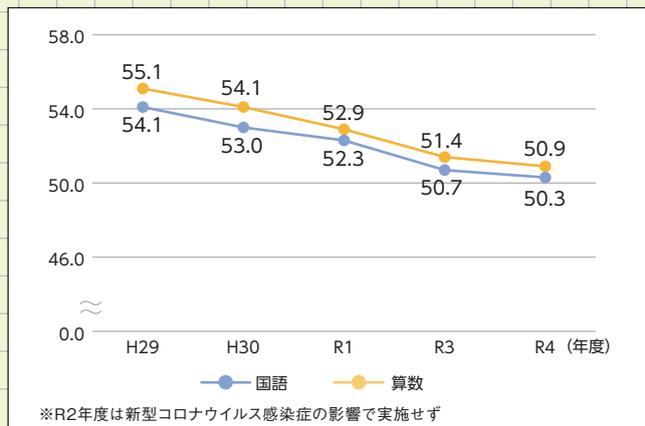
1 学力向上の推進

- ・「子どもが主体的に学ぶ授業づくり」に教員が取り組むことを通して、子どもの知的好奇心や自ら学ぶ意欲などを高めるとともに、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力、人間力」などの資質・能力をバランスよく育みます。
- ・実体験やICT<sup>\*</sup>を活用した体験を通して、子どもの言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力を育みます。

2 特色ある学校教育の推進

- ・地域で育てたい子ども像を学校と地域が話し合って共有し、互いに連携しながら地域性をいかした学校づくりを進めます。
- ・各学校において、小中一貫教育の仕組みや様々な地域資源を活用し、カリキュラム・マネジメント<sup>\*</sup>に取り組みます。
- ・学校・家庭・地域の連携を更に強化し、「地域の子どもは地域で育てる」という意識の醸成を図ります。

●全国標準学力検査の偏差値（小学校）

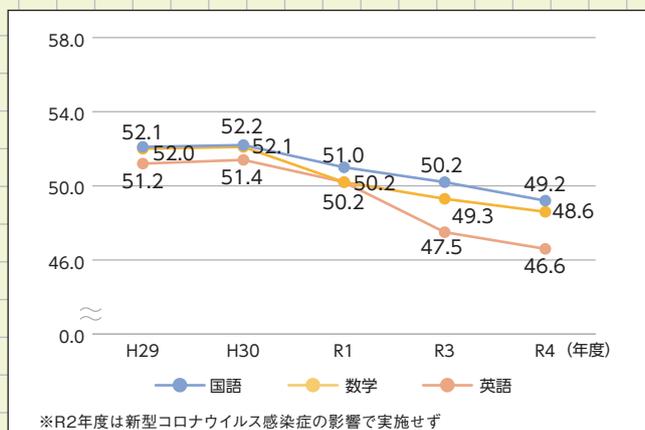


出所：上越市学校教育課



▲小学校でのICTを活用した授業

●全国標準学力検査の偏差値（中学校）



出所：上越市学校教育課



▲地域と連携した特色ある学校教育・教育活動

## 5-2-2 教育環境の充実



### ありたい姿

子どもたち一人一人の多様な個性が尊重され、教育を取り巻く状況の変化に応じた、安心安全で望ましい学習環境が整っています。

### 現 状

- ・小・中学校において、特別な支援を要する児童・生徒が増加しているほか、いじめや不登校、ひきこもり、児童虐待など、子どもや若者に関わる問題が顕在化し、増加傾向となっています。
- ・また、築40年以上経過する学校施設が約4割を占めるなど老朽化が進む中、児童・生徒数の減少により、市内の学校では複式による学級編制が増加し、社会性の育成や多様な考え方に触れる機会の確保等の観点で課題が生じているため、上越市立小中学校適正配置基準<sup>\*</sup>及び上越市学校施設長寿命化計画<sup>\*</sup>に基づき、子どもたちの望ましい学習環境を確保していく必要があります。

### 目 標

- ・特別な支援を要する児童・生徒一人一人のニーズに応じた、きめ細やかな支援により、子どもの学びに向かう意欲が高まっています。
- ・子どもの人権が尊重され、学校や幼稚園等が子どもにとって安心して過ごせる居心地の良い場となっています。
- ・全ての子どもが安心安全で快適に学ぶことができる学校等の施設環境が整っています。

### 成果指標

項 目	現 状 値	R8 中間目標値	R12 目標値
学校が楽しいと感じる児童・生徒の割合	小学校6年生：88.8% 中学校3年生：80.9% (R3)	全国平均値以上 かつ現状値以上	全国平均値以上 かつR8実績値以上
不登校児童・生徒の割合 (1,000人当たりの不登校児童・生徒数)	小学校：5.3 中学校：45.1 (R3)	全国平均値以下	全国平均値以下
複式学級 <sup>*</sup> の課題の解決に向けた取組を実施している学校数と複式学級の課題が解決した学校数 (R4年度以降の取組の累計)	取組実施：4校 課題解決：0校 (R4)	取組実施：13校 課題解決：7校 (R4-R8累計)	取組実施：15校 課題解決：12校 (R4-R12累計)

## 施策の柱

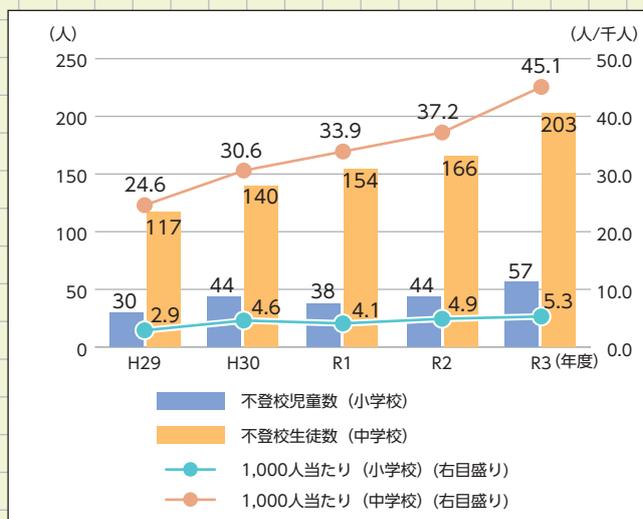
### 1 全ての子どもの学びの保障

- ・一人一人のニーズに応じたきめ細かい個別の支援を充実させ、障害の特性に合わせて多様な学びの場を用意するとともに、学校だけでは解決が困難なケースに対し、相談・助言等を行います。
- ・いじめや不登校に悩む児童・生徒や保護者、教職員に、早期解決のためのカウンセリングや教育相談などの支援を行います。
- ・学校や関係機関、地域との連携を更に強化するとともに、義務教育終了後に困難を抱える若者の自立に向けた支援など、切れ目のない支援体制を構築します。

### 2 学校の適正配置・学びの環境の整備

- ・複式学級\*が存在し、また、おおむね5年以内に発生が見込まれる学校について、保護者や地域の意向を踏まえ、複式学級の課題解決に向けて隣接する学校との統合や合同授業の実施、ICT\*\*機器の活用等の取組を進めます。
- ・上越市学校施設長寿命化計画\*に基づき、学校施設の安全性の確保と機能向上を図りながら、将来を見据えたトータルコストの縮減と平準化による計画的かつ効果的な改修を進めます。

●小・中学校不登校児童・生徒と1,000人当たりの人数



出所：上越市学校教育課



▲学校施設の外壁等大規模改修工事(直江津中学校)



▲トイレ洋式化による学校環境の向上(黒田小学校)

## 5-3-1 多様な学びの推進



### ありたい姿

子どもから大人まで誰もが生涯にわたり多様な学びの機会を通じて主体的にチャレンジし、地域への愛着を持って、地域づくりにも自分事として関わっています。

### 現状

- ・近年、趣味や生活様式の多様化により、生涯学習団体の減少傾向やメンバーの固定化が見られるほか、新たな自主活動グループ等の結成も活発とはいえにくい状況にあります。
- ・また、生活環境の変化や様々なメディアの発達・普及などから「読書離れ」、「活字離れ」が懸念されており、図書館を始めとした様々な場で市民が本に親しむきっかけをつくっていく必要があります。
- ・社会経済環境の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきた中、一人一人の心豊かな人生を支える主体的な学びに焦点を当てた新たな教育大綱<sup>\*</sup>「わくわくを未来へ」を令和4年7月に策定しました。

### 目標

- ・多くの市民が主体的に学び、多様なチャレンジが生まれ、地域への愛着と誇りが育まれています。
- ・市民ニーズを捉えた多様な学びの機会と場が、官民それぞれの取組や協力により提供される中で、生涯にわたって学び続ける市民が増えています。
- ・図書館を始め、家庭、学校、地域など様々な場で市民が読書に親しんでいます。

### 成果指標

項目	現状値	R8 中間目標値	R12 目標値
出前講座の派遣回数	758回 (R3)	780回	800回
公民館が行う講座を受講したことにより、地域づくりに向けて行動する意欲が高まった受講者の割合（講座の受講者アンケート）	64.4% (R3)	67.0%	70.0%
図書館における人口に対する貸出利用者の割合	106.2% (R3)	108.1%	108.4%

## 施策の柱

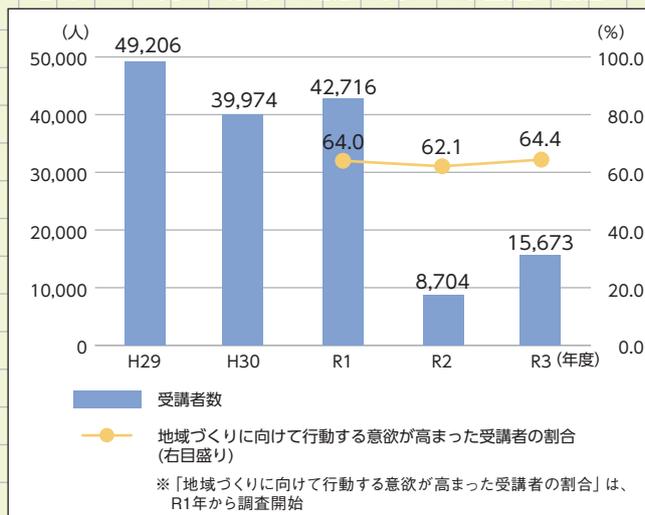
### 1 多様な学習機会の充実

- ・当市の豊かな歴史・文化的資源や地域の人材を活用し、主体的に学びきっかけづくりとなる多様な学習機会を提供します。
- ・市民のライフスタイルに応じて、誰もがいつでも学べる機会を提供することができるよう、関係団体の育成やニーズに合わせた情報提供を行い、市民の自主的な学習活動を支援します。
- ・公民館等において、活動する人同士のつながりやグループ化を支援する手段を確保するため、高度情報化社会に対応した多様な学習機会や学習環境の提供に取り組みます。
- ・施設の実態や利用状況を踏まえ、社会教育関連施設の維持管理や計画的な整備を進め、学ぶ環境の充実を図ります。
- ・ふるさと上越の豊富な地域資源や人材を活用し、子どもたちの郷土愛を育む多様な体験学習の場を提供します。

### 2 多様な学習活動の推進

- ・子どもから大人まで、わくわくする学びから生まれる様々なチャレンジを応援・支援します。
- ・公民館等での学びを通じて、地域において活動する人材の更なる育成や支援を図り、市民の学びの輪を広げ、地域づくりにつなげます。
- ・図書館では、市民の多様な学習活動の場として、市民ニーズや社会、地域の変化に応える蔵書を確保するほか、幼い頃から本に親しむ機会を増やすなど、世代を問わず学ぶことができる環境づくりを進めます。

●公民館講座の受講者数及び講座を受講したことにより、地域づくりに向けて行動する意欲が高まった受講者の割合



出所：上越市社会教育課（講座の受講者アンケート）



▲公民館事業(直江津地区公民館:ふるさと未来づくり事業)



▲図書館でのおはなし会

## 基本目標5 次代を担うひとを育むまち

### 5-3-2 スポーツの振興



#### ありたい姿

健康づくりや体力づくり、生きがいづくりや競技力向上などの多様なスポーツ活動を通じて、人と地域が結び付き、活力のある地域社会が実現しています。

#### 現 状

- ・スポーツは、心身の健康の保持・増進や青少年の健全育成、地域の連帯感の醸成や産業への広がりなど、社会的な意義を有しており、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催やホストタウン<sup>\*</sup>の取組と相まって、市民のスポーツへの関心は高まっています。
- ・しかしながら、人口減少や少子高齢化の進行、余暇活動の多様化などによりスポーツ離れが進んでいることから、市内スポーツ団体の会員数の減少への対応や、各種競技において顕在化する指導者不足と部活動の地域移行を見据えた指導者の確保に取り組む必要があります。
- ・また、スポーツ施設の多くが、老朽化に伴う維持修繕や長寿命化を図る大規模な改修が必要な時期を迎える中で、新たな施設の建設を含む環境の充実が求められています。

#### 目 標

- ・多くの市民が、市内各所で、健康増進に向けた多様なスポーツに取り組んでいます。
- ・多くの指導者が育成され、ジュニア期からトップレベルまでの指導が充実し、競技力が向上しています。
- ・スポーツ施設が適正に配置され、安全で快適にスポーツができる環境が整っています。

#### 成果指標

項 目	現 状 値	R8 中間目標値	R12 目標値
市内の総合型地域スポーツクラブ <sup>*</sup> 、 スポーツ協会会員の割合	11.0% (R3)	13.0%	15.0%
小・中学生、高校生の北信越・全国クラスの 大会の出場数（学校部活動以外を含む）	339人 (R3)	570人	668人
1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回 以上、1年以上実施している人の割合	34.2% (R3)	40.0%	45.0%

施策の柱

1 スポーツ活動の充実

- ・スポーツ推進委員\*や総合型地域スポーツクラブ\*\*等の各種スポーツ団体との連携により、健康の保持・増進のためのスポーツ教室やイベントなどの幅広いスポーツ活動を推進します。
- ・総合型地域スポーツクラブの自発的な組織の再編と健全な運営を支援し、身近な地域で、市民が多様なスポーツに親しむ機会を提供します。
- ・指導者の育成や確保のため、協定を結ぶ体育大学や実業団チーム等と連携した最先端の指導法が学べる講習会を開催するとともに、部活指導者が地域で活動できる環境整備に向けた市内スポーツ団体の体制づくりを支援します。

2 スポーツ環境の充実

- ・安全で快適なスポーツ環境を維持していくため、公共建築物ユニバーサルデザイン指針\*等に基づき、施設や設備、用具の機能維持に努めます。
- ・利用実態やニーズの変化などを踏まえ、施設の統廃合や機能の拡充、新たな施設・機能の整備などを計画的に進めるなど、スポーツ関連施設の適正配置に取り組みます。

●市内の総合型地域スポーツクラブ及びスポーツ協会の会員数と人口割合

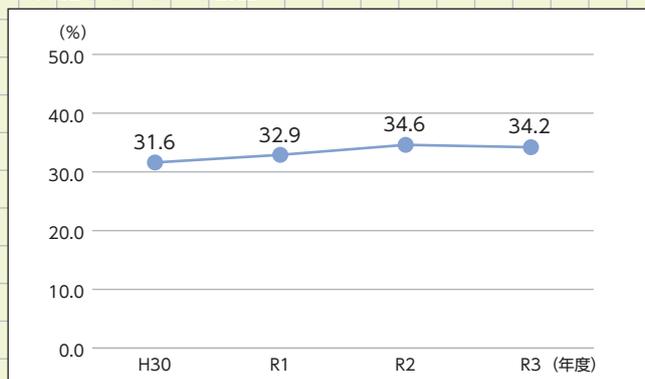


出所：上越市スポーツ推進課



▲スポーツ推進委員による出前講座

●1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施している人の割合



出所：上越市健康づくり推進課



▲ジムリーナでのトランポリン教室

## 5-3-3 文化活動の振興



### ありたい姿

地域の歴史・文化的資源が適切に保存され、活用が図られるとともに、文化・芸術活動の担い手が育ち、次代につながる中で、市民の誇りとなる当市ならではの文化の力が育まれています。

### 現状

- ・県下最多を誇る当市の文化財は、古くから受け継がれてきた地域のアイデンティティ<sup>※</sup>であり、今後も、次の世代にしっかりと守り伝えていく必要があります。
- ・しかしながら、少子高齢化や人口減少の進行に伴い、地域の歴史・文化的資源を保存・継承する担い手が減少し、貴重な地域資源である文化財の滅失や散逸の恐れが生じています。
- ・また、趣味や価値観の多様化等の影響もあり、文化・芸術活動に携わる市民が減少傾向にあります。

### 目標

- ・地域で受け継がれてきた歴史・文化的資源が着実に保存・活用され、次世代への継承や地域づくりが進む中で、多くの市民が地域への愛着と誇りを持っています。
- ・市民や市民団体等による文化・芸術活動が活発に行われ、次代の担い手が活動に参加しています。

### 成果指標

項目	現状値	R8 中間目標値	R12 目標値
地域の歴史や伝統が継承されていると感じている市民の割合（上越市市民の声アンケート）	55.5% (R4)	57.7%	60.0%
市展出品者のうち、新規出品者の割合	23.3% (H30-R3平均)	25.0%	26.0%

施策の柱

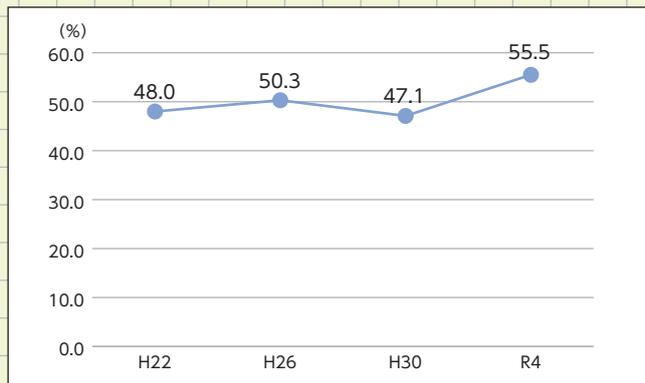
1 歴史・文化的資源の保存と活用

- ・文化財の現状把握に努めるとともに、市民団体等への助言、情報発信、ネットワークづくりなどの支援を行うことにより、歴史・文化的資源の保存を図ります。
- ・各施設における展示や様々な講座等の取組を充実させるほか、顕彰活動団体等の取組を支援することにより、歴史・文化的資源の活用を図り、地域への愛着や誇りを持つ心を育み、地域の良さの再発見や地域活性化を図ります。

2 文化・芸術活動の推進

- ・歴史的文化的価値のある資料を収集・保存するとともに、継続的な調査研究により地域の歴史や文化芸術を広く市民へ周知し、多くの市民が歴史・文化芸術に触れる機会を提供します。
- ・市民の文化・芸術活動の裾野を広げ、地域の文化の力の醸成を図るため、水準の高い文化・芸術に触れる多様な機会を設けるとともに、市民の文化・芸能活動の発表の場を提供するほか、市民が気軽に文化・芸術活動を行う環境づくりに取り組みます。

●地域の歴史や伝統が継承されていると感じている市民の割合

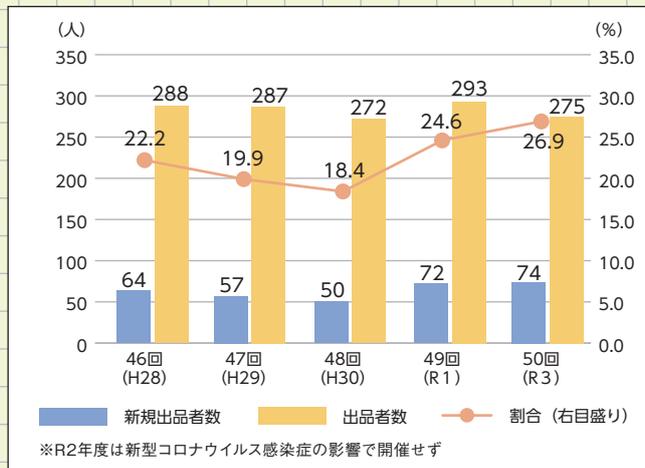


出所：上越市総合政策課（上越市市民の声アンケート）



▲旧今井染物屋でのパテンレース継承講座

●市展出品者の新規出品者の割合



出所：上越市社会教育課



▲高田まちかどフェスティバル